

## 感染収束と平和 願い揮毫を奉納

盛岡二高生と書家

盛岡

盛岡二高書道部(桜井音

々部長、部員10人)と奥州市水沢の書家松本錦龍さん(42)は21日、盛岡市八幡町の岩手護国神社で、新型コロナウイルス感染症の収束と世界平和を願う揮毫を奉納した。

神事に続き、部員9人が縦2尺、横4尺の紙に全部員で考えた「希望に満ちる世界に」などのメッセージを毛筆で書き上げ、松本さんは縦6尺、横240センチの紙に「白梅笑いて平和実る」と筆を走らせた。

同日の国際平和デーに合わせ、全国の護国神社など50カ所に平和祈願の揮毫を奉納する「9・21世界平和

の祈り」(和プロジェクト TAIISHI主催)の一環。桜井部長(2年)は「神社で書くのは初めて。世の中が早く平穩になってほしい」と話した。



世界平和とコロナ収束を願う、筆を走らせる盛岡二高書道部の部員たち

い」と願い、松本さんは「長い冬を乗り越えて白梅が花開くように、世界に平和や笑顔が広がってほしい」と思いを語った。

岩手日報 2020年9月22日付

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。